

第64期 年次報告書

平成21年12月1日～平成22年11月30日



マルカキカイ 株式会社

世界の物づくり企業をサポート。 海外事業に注力した営業を展開し、 事業の拡大をはかります。

当連結会計年度におけるわが国経済は、エコカー補助金など政府による景気刺激策や新興国の需要拡大を背景として、輸出、生産が改善し、低迷が続いてきた設備投資も緩やかながら持ち直しました。しかしながら、先行きの需要には内需の縮小、円高などの不透明感が残りました。米国では、生産、新規受注に伸びが見られ、中国などアジアの新興諸国では、

自動車や電機メーカーが設備投資を拡大しました。

このような状況において、当社グループでは、日本、米国、中国、東南アジア4極体制の構築と営業力の機動性アップをはかるとともに、販管費の圧縮（前期比8%減）と海外におけるサービス体制の充実を推し進めてまいりました。

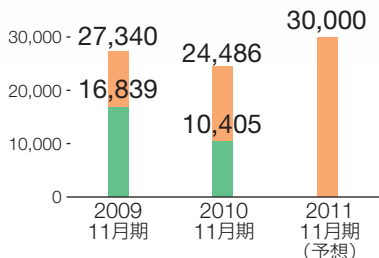
その結果、当連結会計年度の売上高は24,486

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

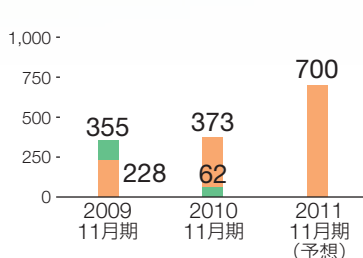
売上高(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



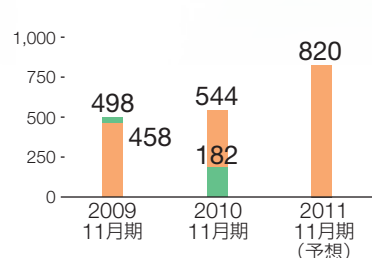
営業利益(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



経常利益(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



百万円(前期比10.4%減)、営業利益は373百万円(同63.9%増)、経常利益は544百万円(同18.7%増)、当期純利益は198百万円(同144.3%増)となりました。

産業機械については、国内景気は緩やかながら上昇すると予想されますが、海外景気の下振れ懸念や為替、株価の変動などに対して万全のリスク管理をとり、新たな商品・事業の開拓及び中国、新興国における現地ユーザーの開拓など海外事業を強化してまいります。

建設機械については、公共投資の縮減等から引き続き厳しい状況が続くと予想されますが、物流業界

他新規業界のユーザー開拓及び中古建設機械輸出に加え海外製品の輸入など新たな海外事業の展開をはかる所存ですので、株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



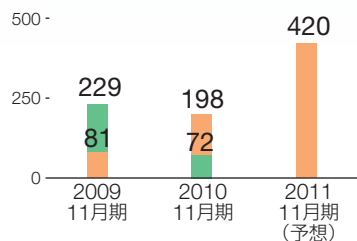
取締役会長
釜江 信次



取締役社長
竹下 敏章

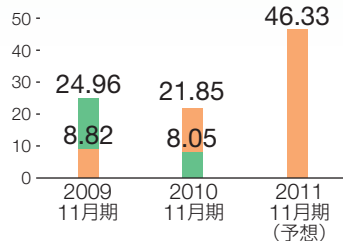
当期純利益(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



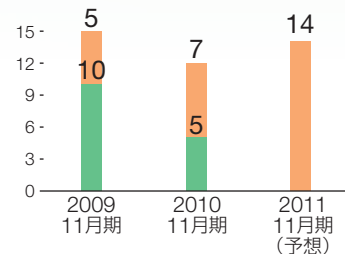
1株当たり当期純利益(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:円)



1株当たり配当実績及び予想

■ 第2四半期末 ■ 期末 (単位:円)



産業機械部門

新興国の経済成長と先進諸国の企業進出から海外需要が増加するとともに国内でも輸出関連企業の設備投資が回復し、工作機械、鍛圧機械、射出成形機の受注が上向きました。

この結果、当連結会計年度における当セグメントの売上高は18,691百万円（前期比7.9%減）、営業利益は977百万円（同28.5%増）となりました。



マシニングセンタ

建設機械部門

公共投資の縮減が続くなか国内の民間建設需要は低迷し、さらに円高が中古建設機械輸出の収益力を削ぎ落とすなど厳しい環境でした。

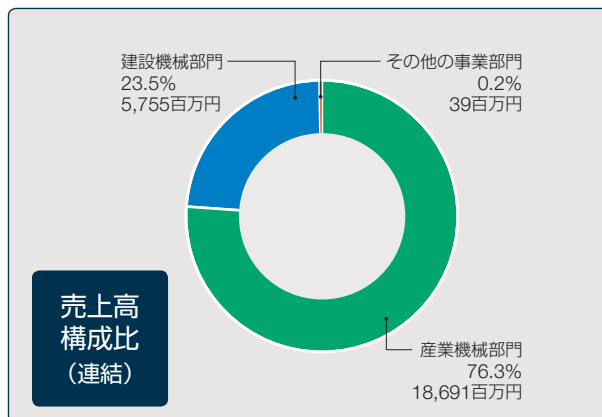
この結果、当連結会計年度における当セグメントの売上高は5,755百万円（前期比17.8%減）、営業利益は167百万円（同43.4%減）となりました。



クローラクレーン

その他の事業部門

当セグメントは、保険部門等の業績を示しております。当連結会計年度における当セグメントの売上高は39百万円（前期比14.7%減）、営業利益は21百万円（同5.2%減）となりました。



TOPICS

産業機械MM会

2社新規参加・海外メーカー初入会
12社に拡大

建設機械MM会を

7社で発足

海外進出
企業を
フルサポート

MM会とは

MM会…マルカ(M)メーカー(M)会

高度な専門技術をもった、幅広い分野のメーカーが集い、世界の物づくりを中心とした情報交換や実際の生産現場を視察し、新たな生産の可能性を追求する会。生産現場では欠かせないユニークな商品群。当社は、MM会商品を国内のみならず、アジアを中心とした物づくり企業に提供し、提案型営業を推進してまいります。

◇産業機械MM会とは…12社で構成（2010年11月現在）

参加企業=大鋳・大峰工業・管製作所・光栄製作所・コスモテック・ソノルカエンジニアリング・先生精機・千代田工業・ユーテック・富士エンジニアリング・三愛エコシステム・パミンド（インドネシア）
商 品=ショットブラスト・チップコンベア・洗浄機械・油圧プレス・パイプ加工機・圧入機・切粉圧縮機・コイルライン等

◇建設機械MM会とは…7社で構成（2010年11月現在）

参加企業=アボロンシステム・栄輝・大阪特殊車輛・三和機工・シロタ・ワイビーエム・HAULOTTE
商 品=地盤改良機・特殊ハンマー・杭打機・高所作業車等

海外進出企業をフルサポート

海外現地生産を始める企業に、現地法人設立（出資）から現地生産委託先の紹介～現地生産の開始まで、一貫した海外進出をフルサポートします。

連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

○ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前期	当期
	平成21年11月30日 現在	平成22年11月30日 現在
資産の部		
流動資産	13,112	15,587
固定資産	6,138	5,930
有形固定資産	3,848	3,742
無形固定資産	117	100
投資その他の資産	2,171	2,087
繰延資産	4	2
資産合計	19,255	21,521
負債の部		
流動負債	6,573	8,818
固定負債	615	573
負債合計	7,188	9,392
純資産の部		
株主資本	11,842	11,949
資本金	1,414	1,414
資本剰余金	1,300	1,300
利益剰余金	9,339	9,446
自己株式	△ 211	△ 211
評価・換算差額等	△ 92	△ 131
その他有価証券評価差額金	56	104
土地再評価差額金	269	269
為替換算調整勘定	△ 418	△ 504
少数株主持分	316	309
純資産合計	12,066	12,128
負債純資産合計	19,255	21,521

○ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前期	当期
	自平成20年12月1日 至平成21年11月30日	自平成21年12月1日 至平成22年11月30日
売上高	27,340	24,486
売上原価	23,709	21,010
売上総利益	3,631	3,476
割賦販売未実現利益戻入額	59	51
割賦販売未実現利益繰入額	51	25
差引売上総利益	3,638	3,503
販売費及び一般管理費	3,410	3,129
営業利益	228	373
営業外収益	353	236
営業外費用	123	66
経常利益	458	544
特別利益	0	23
特別損失	116	51
税金等調整前当期純利益	343	516
法人税、住民税及び事業税	222	204
法人税等調整額	41	119
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 1	△ 5
当期純利益	81	198

○ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前期	当期
	自平成20年12月1日 至平成21年11月30日	自平成21年12月1日 至平成22年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 936	1,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 576	230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 478	△ 372
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 137	△ 50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,128	1,738
現金及び現金同等物の期首残高	6,166	4,038
現金及び現金同等物の期末残高	4,038	5,776

株式の状況 & 会社概要

STOCK INFORMATION & CORPORATE PROFILE

○ 株式の状況 (平成22年11月30日現在)

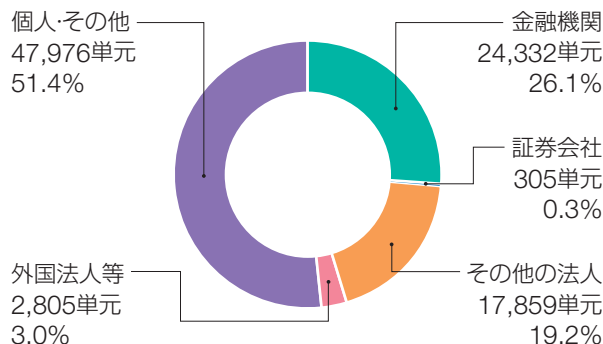
発行可能株式総数	33,600,000株
発行済株式の総数	9,327,700株
株主数	7,943名
単元株式数	100株

○ 大株主(上位10名)の状況 (平成22年11月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コベルコクレーン株式会社	594,000	6.6
株式会社不二越	576,000	6.4
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	550,000	6.1
株式会社りそな銀行	396,000	4.4
マルカキカイ従業員持株会	378,172	4.2
株式会社みずほ銀行	372,000	4.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	288,000	3.2
乾 孝 義	261,600	2.9
竹 田 和 平	250,000	2.8
若 山 永 太 郎	212,300	2.3

(注) 持株比率は自己株式(262,123株)を控除して算出し、小数点第2位を四捨五入して計算しております。また、自己株式は上位10名から除いております。

○ 所有者別株式分布状況 (平成22年11月30日現在)



○ 会社概要 (平成22年11月30日現在)

商 号	マルカキカイ株式会社 MARUKA MACHINERY CO.,LTD.
設 立	昭和21年12月16日(1946年)
本社所在地	〒567-8520 大阪府茨木市五日市緑町2番28号 TEL.072-625-6551 FAX.072-625-6558 インターネットホームページ http://www.maruka.co.jp/
主な事業内容	機械専門商社として産業機械、 建設機械の国内販売および輸出入
資 本 金	14億1,441万円
従 業 員 数	連結 379名、単独 160名

○ 役員 (平成23年2月25日現在)

代表取締役会長	釜 江 信 次
代表取締役社長	竹 下 敏 章
取締役兼常務執行役員	森 康 明
取締役兼執行役員	真 鍋 聡
取締役兼執行役員	諸 富 秀 一
取締役兼執行役員	難 波 経 久
取締役兼執行役員	吉 儀 裕 之
※ 取締役	湯 村 幸 次
相談役	乾 孝 義
常勤監査役	記 録 勇 次
常勤監査役	塚 原 実
※ 監査役	柴 功 安
※ 監査役	長 崎 伸 郎
執行役員	太 田 稔

上記※印は、社外取締役及び社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで

期末配当受領株主確定日 11月30日

中間配当受領株主確定日 5月31日

定時株主総会 2月

基準日 定時株主総会については 11月30日
(その他必要あるときは予め公告する一定の日。)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(兼 特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(兼 特別口座の口座管理機関連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

各種お問合せ 電話 ☎️ 0120-094-777

※証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。

※特別口座に登録された株式関係のお手續用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。

手續用紙請求電話 ☎️ 0120-244-479
(本店証券代行部)

☎️ 0120-684-479
(大阪証券代行部)

インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)
<http://www.maruka.co.jp/>

なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第1部



マルカキカイ 株式会社

<http://www.maruka.co.jp/>